

令和5年度 年間授業計画

都立田無工科高等学校

教科・科目	工業 実習		単位数	3
対象学年・組	3学年建築科		教科担任	AA小林、垣内、野村、AB大内、田中、米原
教科書 ・ 副教材	新版 建築実習1・2 なし			
1. 目標 1、2年生の実習で学んだことがらや建築構造・計画・構造設計・施工・法規で学んだこと、学ぶことを活かし、以下の分野について学ぶ。と同時に安全作業を通して、「協調性・作業効率・要求される制度」に関する事、及びこれらの条件に主体的に対応できる態度と能力を養う。				
2. 学習内容と学習上の留意点				
学期	月	単 元	指導内容・指導目標	予定時数
1 学 期	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・安全教育 ・各種図面作成 ・管の配管、加工 ・高力ボルト(JIS/トルシア型)及び締め付けについて ・鉄筋配筋図の作成 ・鉄筋加工等 	8
	5	5		12
	6	6		14
	7	7		15
	1学期授業時数計			
2 学 期	9	9	<ul style="list-style-type: none"> ・冷凍実習 ・空調実習 ・型枠の組立て ・解体 ・仮設計画図の作成 ・組立・解体作業 	14
	10	10		15
	11	11		14
	12	12		9
	2学期授業時数計			
3 学 期	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・設備実習 ・冷凍実習 ・空調実習(冷房・暖房) 	12
	2	2		
	3	3		
	3学期授業時数計			
年間授業時数合計				113
3. 評価の観点・方法 レポートおよび課題の提出状況、授業に望む姿勢・態度など、総合的に評価する。 レポートの提出が求められている実習については、提出がない場合は不合格とする。 ※本校の実習系科目は、限られた授業内で1学年から継続的な流れで知識・技能・技術を習得するものであり、単に技能等の要素を取り出すものではない。そのため、すべてのレポートの提出をもって初めて総合的な評価を行うことができる。 【評価の割合】 生徒の学習進度により授業内容に若干の変更が生じる場合がある。				